展覧会スケジュール　2024（令和6）年4月 – 2025（令和7）年3月

月	2024 令和6 4	5	6	7	8	9	10	11	12	2025 令和7 1	2	3
企画展		日欧プライベートコレクション ロイヤル コペンハーゲンと北欧デザインの煌めき アール・ヌーヴォーからモダンへ 4月27日（土）～6月23日（日）		久保 修 紙のジャポニスム ～切り絵 線のかたち～ 7月4日（木）～8月27日（火）		金魚美抄 2024 ～金魚を描くアーティストたち～ 9月5日（木）～10月22日（火）		熊田千佳慕の世界展 ―愛するからこそ美しい 10月31日（木）～1月13日（月・祝）				白洲次郎と白洲正子 ふたりの暮らした武相荘 2月20日（木）～4月15日（火）
常設展		令和6年度第1期 4月27日（土）※予定～6月18日（火）		令和6年度第2期 6月20日（木）～9月24日（火）			令和6年度第3期 9月26日（木）～12月17日（火）			令和6年度第4期 12月19日（木）～ 令和7年3月11日（火）		
満月夜間開館日	―	23日（木）	22日（土）	21日（日）	20日（火）	中秋の名月 17日（火） 満月 18日（水）	17日（木）	16日（土）	15日（日）	―	―	14日（金）
休館日	※4月26日まで臨時休館（予定）	毎週水曜日（1日開館）	毎週水曜日	毎週水曜日	毎週水曜日（14日開館）	毎週水曜日（18日開館）（19日休館）	毎週水曜日	毎週水曜日	毎週水曜日（25日開館） 12月27日（金）～1月1日（水・祝）休館	毎週水曜日	毎週水曜日	毎週水曜日

※令和6年1月17日現在。会期及び展覧会の名称は変更となる場合があります。定例以外に休館する場合があります。

企画展

日欧プライベートコレクション ロイヤル コペンハーゲンと北欧デザインの煌めき　アール・ヌーヴォーからモダンへ

4月27日（土）～6月23日（日）

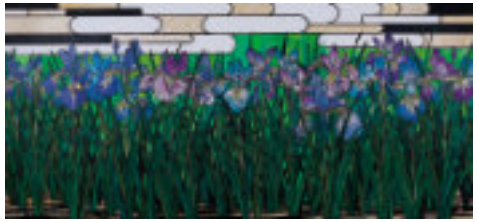
冬の長い北欧では、室内での暮らしを大切にしてきました。本展では、食器など生活雑貨のデザインや彩りが洗練されていることで知られるデンマークとスウェーデンに焦点をあて、国内外の個人コレクションより19世紀末から20世紀の陶磁器、銀器、ガラス器を中心に約200点を展示し、北欧デザインの魅力を紹介します。

《マーガレット・サーヴィス》
1904–22年　デザイン：アーノルド・クロー
ロイヤル コペンハーゲン　塩川コレクション

久保 修 紙のジャポニスム ～切り絵 線のかたち～

7月4日（木）～8月27日（火）

美しい日本の原風景や食材・訪れた海外の風景などを切り取って描き、世界や未来に向けて発信し続けている切り絵画家 久保修。その作品を初期から近作まで幅広く紹介します。春夏秋冬を描いた大型作品も一堂に展示します。



《菖蒲》2020年
久保修切り絵ミュージアム蔵

金魚美抄 2024 ～金魚を描くアーティストたち～

9月5日（木）～10月22日（火）

金魚の美をすくい取るとの意味を込めた「金魚美抄」展。金魚をモチーフとした作品を手がけるアーティストが一堂に集います。透明樹脂に金魚を描くことで知られる美術家・深堀隆介の監修のもと、様々な表現により金魚の“美”を魅せる展覧会です。

深堀隆介《金魚酒　命名　彩雲》

熊田千佳慕の世界展 ―愛するからこそ美しい

10月31日（木）～1月13日（月・祝）

自然の観察を通して描く昆虫や植物のリアルな精密画で知られる熊田千佳慕。『ファーブル昆虫記』に始まり、春夏秋冬の生物の姿、ファンタジー作品、世界的な評価を受けている絵本の原画などの作品や、その創作の源とも言えるデッサンなどの資料を展示します。熊田の世界観を紹介する展覧会です。

白洲次郎と白洲正子 ふたりの暮らした武相荘

2月20日（木）～4月15日（火）

戦前・戦後の激動の時代を生き、現代を築いた白洲次郎と、本物と美のある暮らしを求めた白洲正子。旧白洲邸「武相荘」に遺るモノや、彼らの言葉、写真などを通して、絆深い白洲一家の生き方・生き様を紹介します。

白洲次郎と正子の旧宅「武相荘」